

しらすぎ・無所属クラブ

新型コロナウイルスに感染し
たらかかりつけ医へ連絡を

江口 友子 議員



問 新型コロナウイルス感染症を疑う熱が出た場合、どこへ連絡したらよいか。
健康・こども部長 かかりつけ医がいる場合はかかりつけ医に、いない場合は帰国者・接触者相談センターに連絡することになる。

問 どこに連絡をすればよいか、どうしたら検査や治療を受けられるかが分りにくい。制度や情報の見える化が必要ではないか。
健康・こども部長 ホームページなども活用しながら対応していきたい。

問 新型コロナウイルスに次亜塩素酸水は有効か。
市長 保健所が検査の必要性を判断しており、感染の疑いのない人がPCR検査を受けることは難しい。しかし、必要とする人が必要な検査を受けられる体制整備が進むよう、関係機関への要望を検討していく。



保健センターで配布していた次亜塩素酸水。新型コロナウイルスへの効果は「確認中」と答弁。

津波緩衝機能なし
根拠は奇跡の一本松

問 龍城ヶ丘ゾーンの整備事業で、学識経験者などで構成する選定委員会が開か

れているが、委員の中に防災の専門家はあるのか。
都市整備部長 選定委員会に入っていないが、防災計画の専門家を招へいし、意見をもらっている。

問 委員の任命責任は市長にあるのか。
都市整備部長 選定委員会は附属機関に位置付けられ市長に任命責任がある。



平塚市役所 改革

金子 修一 議員

コロナ後の
予算措置など

問 中止となった七夕まつりや各種イベントの予算額と今後の使い道を伺う。
企画政策部長 セタまつりが約7759万円、花火大会が約1149万円、緑化まつりが300万円である。ほかの事業も在り方の検討と予算の精査をし、新型コロナウイルス感染症対策への組み替えなどをしていく。

問 オリンピック・パラリンピックの延期により、ひらつかリニア交流推進実行委員会に係る経費約5324万円を含む今年度予算約7091万円や、担当職員9人分の人件費約7961万円はどう扱うのか。
企画政策部長 延期となるイベントの事業予算は執行

問 昨年7月の選定委員会の会議録を見ると、市は、標高9メートルの国道に9・6メートルの最大想定津波が来た場合、低木を密に並べることなどで津波を少し弱めることができるとして、樹木が持つ津波緩衝機能が期待できる配置を求めると内容に要求水準書を修正しようとした。しかし、委員からは東北の津波では林が流されて木が一本しか残っていないことが現実であり、議論はしなくてよい

のではないかと発言があった。他の委員からは数値で示さず定性的に書いた方がよいのではないかと発言があった。これらを受けて、修正しようとした文面は要求水準書に入ったのか。
都市整備部長 国の技術資料も踏まえた上で、ソフト対策で津波に対応していくことで意見がまとまり、文面は入っていない。
問 防災の専門的見地も取り入れず調査もしないで要求水準書をつくることは手

続き上、問題ではないか。
都市整備部長 県が示す防護水準を踏まえ計画を策定している。数十年から数百年に一度の津波には対応できるし、数千年に一度の大津波は逃げるのが原則である。その意味で樹木等に効果を求めることは間違いであると認識している。
樹林帯の防災機能
専門家による検証を

東日本大震災後、中央防災会議の中の専門調査会
問 本年度開催予定の平塚競輪はどのような状況か。
公営事業部長 6月は無観客で開催しているが、新型コロナウイルスの最新情報を注視して観客の入場を判断していく。年末に開催予定のKEIRINグランプリは準備を進めている。
問 長期間授業を受けられなかった児童・生徒への学力保障の取り組みを伺う。
教育指導担当部長 削減された授業時数を補うため、夏季休業を約3週間短縮する。夏季休業の短縮で増えた授業日はサン・サンスタッフや介助員などを継続任用し、学習指導員の配置も行う。

ソフト対策も重ねて命を守るということであるので、樹林があるから少しは安全であるという間違いはメッセージを出すべきでない。
問 国の資料の一部を引張るのではなく現地で専門調査するべきではないか。
都市整備部長 防災の専門家に現地を見てもらい、既存樹木は幹が細いものが多い、津波で折れたり抜けたりと危険となる可能性があるという指摘がある。そのとおりであると思っている。

声や点字の
議会だより

目の不自由な方に市議会の活動状況をお伝えするため、議会だよりの内容を音声化した「声の議会だより」を発行しています。また、点字版も発行しています。

問い合わせ
議会局 ☎21-8791

問 実行委員会の予算に今年度は必要と思われるものがあるがどう扱うのか。
オリンピック・パラリンピック推進担当部長 実行委員会と真剣に議論してほしいが見解を伺う。

見附台周辺地区の
インフラ整備
問 東海道本通り線景観整備基本設計について、市民プラザ前交差点西側の南北歩道の美装化・無電柱化をまちづくり財団前の交差点まで延伸できないか。

まちづくり政策部長 第1期として市民プラザ前交差点から見附台周辺地区までの整備を進める。北側は令和3年度中、南側は7年度頃の完了を想定している。
問 完了が7年度であれば延伸を計画の中に入れる時間があるのではないか。
まちづくり政策部長 電線管理者である電力、通信の企業の協力が必要で、相應の費用も掛かる。見附台周辺地区から西側の区間は景観重点区域に含まれており

景観整備の必要性は認識している。整備効果や財政状況を踏まえて整備の推進ができるよう取り組んでいきたい。
問 現在工事中の平塚文化芸術ホール東側道路は多くの人の往来には狭すぎる。歩道の設置ができないか。
まちづくり政策部長 近隣住民だけでなく駅及びホテル利用者のルートになると想定しており、旧綿町駐車場部分まで連続して歩道などを整備する計画である。

しらすぎ・無所属クラブ 所属議員



渡部 亮 議員



端 文昭 議員



府川 勝 議員



白井 照人 議員